

東京医科大学、女子受験生一律減点入試を考える

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) 東京医科大学では、女子の受験生の得点を一律に減点する操作をしてきた事件が、連日大きく報道されています。
(2) この報道が真実であるならば、大学入試制度の根幹に関わる「女性差別事件」として、とうてい看過（かんか）、見過すことはできません。
(3) 関係者および当該大学への厳正な処分と、合格すべき女子受験生の遑（はや）つての入学等の権利回復処置を強く求めます。
2. 「遑（はや）つての入学」の内容として、
 - (1) ①当該大学医学部への入学の意思を確認したうえで、
②来年度より、過去に入学させるべき受験生すべてを、1 学年の募集定員いっぱいまで順次入学させ、
③その間、男子学生の募集を停止すること。
 - (2) ①入学までおよび入学後も、必要なリカレント教育を無料で実施すること。
②初年度の入学金や授業料、諸費は一切無料とし、
③2 学年以降も、当該大学の給付生奨学金を適応すること。
 - (3) 合格させるべき受験生で、「遑（はや）つての入学」を希望しない受験生には適正な慰謝料を支払うこと。
以上を速やかに実施することを、提言いたします。
3. (1) 他の大学で、同様のことが行われていないか、早急に調査すること。
(2) 当該大学および大学の監督官庁である文部科学省は、他大学も含め、再発防止策を講じること。大学関係団体も自主的な防止策を講じ、再発防止に努めること。
(3) ①不合格になるはずであったにもかかわらず、入学させた学生については、追跡調査をして、学力が不足していたら、不足する学力を補う「リカレント教育」を無料で確実に実施すること。受講は、義務事項とすること。
②不正入学のあった学年の評価は厳格に行い、医学教育の質の担保を図ること。
以上3点も、提言いたします。
4. (1) 開倫塾では、中学生以上の塾生に対して、本件について自由記述式の「緊急アンケート調査」を実施いたします。
(2) <女子受験生、一律減点の医科大学入試、緊急アンケート>内容「東京医科大学で、女子受験生の得点が一律に減点されているという事件が報じられています。あなたは、どうお考えですか。自由に記述してください。」
(3) 実施方法と記述の書式は、後刻お送りいたします。

よろしく願いいたします。

2018年8月4日(土)4時46分